

やまなしエネルギービジョン検討委員会について

経緯

山梨県では、太陽光、小水力等のクリーンエネルギーの導入促進と省エネルギー対策を両輪に、概ね2050年ごろまでに、県内の消費電力全てをクリーンエネルギー発電で賄う「エネルギーの地産地消」を目指した「やまなしエネルギー地産地消推進戦略」を平成25年4月に策定した。

しかし、太陽光発電の急激な増加による景観・自然環境への影響や電力系統への連系制約等の問題、再生可能エネルギー固定価格買取制度の見直しや国の2030年のエネルギーミックス（電源構成）の策定など、現在、エネルギーを取り巻く環境が大きく変化していることから、これまで掲げてきた「やまなしエネルギー地産地消推進戦略」を見直し、本県の新たなエネルギービジョンを策定することとなった。

会議の趣旨

多様なクリーンエネルギーをバランス良く取り入れながら、県内経済の活性化に資するエネルギー供給力の充実・強化等を図り、環境負荷が少なく、災害に強い自立・分散型エネルギー社会の構築を目指すため、2030年を目途に本県のエネルギー政策の方向性を示す新たなエネルギービジョンを策定するにあたり、関係分野で優れた知見を持つ有識者から意見を聴く機会を設ける。

検討事項

本県の現状と課題を踏まえ、新たに策定する「やまなしエネルギービジョン（仮称）」に反映すべき事項等について検討

委員

11名（消費者、エネルギー関連事業者、産業、学識者、行政の各分野の有識者）

開催予定

年内に3回の開催を予定（場所は県庁内会議室）

第1回委員会（8月6日）

第2回委員会（10月上旬）

第3回委員会（12月中下旬）